

ザンビア通信 vol.4

青年海外協力隊 平成 22 年度 3 次隊

ザンビア 理数科教師 金田直己

11 月 14 日から 11 月 25 日の日程でベーシックスクール最終学年であるグレード 9 の国家試験(National Examination)が実施されました。これに合格しなければ高校へ進学が出来ません。基本的にザンビアのベーシックスクールには留年が無いのでたとえこの試験に合格しなくても卒業は出来ます。ただ高校へ進学出来ないだけなので日本と一緒にです。

生徒は毎日学校に来ていなかったり、先生たちが授業に来なかったりするので十分な授業を受けれていなく一個人として心配していました。生徒たちは試験の直前または試験期間に入ってから焦って試験勉強をやっていました。この辺も日本の学生と一緒にですね。

同僚の先生の話によると毎年我がカピジンパンガ小中学校の試験の合格率は約 70%ほどで個人的には思いの外合格している印象でした。

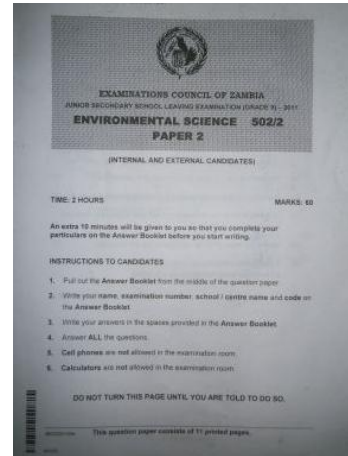
試験は基本的な事ばかりで決して難しいレベルではありません。40%取得出来れば合格です。

「先生たちが授業に来ない⇒生徒も学校に来なくなる⇒それでもある程度の生徒は試験に合格出来る」

こんな流れがあつてかどうかは分かりませんがこんなことから先生たちが授業に来なくなるのを助長させているような気がします。

今タームでは「先生たちが授業に来ていないのは校長先生の教師陣に対する管理が出来ていないからでしっかり管理して下さい」と校長先生に言ったところ「お前がやれ！」と思わぬ言葉が返ってきました。校長先生が教師たちの管理を放棄しました。そして来たばかりの日本人に教師たちの管理を丸投げしてきました。上司が部下の管理をするのは当たり前で、これは日本でもザンビアでも変わりはないはずなのに全く信じられませんでした。「そんなんやっつてられっかー！！」と内心思いましたが、次の日から自分が担当しているグレード 8 への教師たちの出席状況をこっそり取ることにしました。

かなり見難いですが(ズームして見て下さい)以下の表は第 3 タームの最後の 5 週間の教師陣の出席状況です。月曜日から金曜日の 1 限から 8 限を表しています。アルファベットは教科を示しています。私の担当である理科は「S : Science」数学は「M : Mathematics」となっています。「○」が出席で「×」が欠席です。もちろん理科と数学は全出席です。欠席が明らかに多いのは一目瞭然です。この 5 週間で自分以外の教師たちが出席しないとい



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
Monday	S	S	G	E	M	Ho	Ho	O
Tuesday	S	E	E	O	K	K	M	R
Wednesday	G	O	H	R	M	M	K	E
Thursday	M	H	K	E	S	Ho	Ho	Ho
Friday	H	S	S	R	E	M	M	G
Monday	S	S	G	E	M	Ho	Ho	O
Tuesday	S	E	E	O	K	K	M	R
Wednesday	G	O	H	R	M	M	K	E
Thursday	M	H	K	E	S	Ho	Ho	Ho
Friday	H	S	S	R	E	M	M	G
Monday	S	S	G	E	M	Ho	Ho	O
Tuesday	S	E	E	O	K	K	M	R
Wednesday	G	O	H	R	M	M	K	E
Thursday	M	H	K	E	S	Ho	Ho	Ho
Friday	H	S	S	R	E	M	M	G
Monday	S	S	G	E	M	Ho	Ho	O
Tuesday	S	E	E	O	K	K	M	R
Wednesday	G	O	H	R	M	M	K	E
Thursday	M	H	K	E	S	Ho	Ho	Ho
Friday	H	S	S	R	E	M	M	G

けなかったコマ数は107コマ。そのうち出席したのは17コマ。約16%の出席率です。

本来であれば校長先生から教師陣への指導を行ってもらうべきですが、私の学校では校長先生が教師陣の管理を怠り校長先生自身もほんの少し学校へ来ていつの間にかどこかに消えているという状況なので、校長先生を頼りに教師陣に授業への参加を促すことは相当難しいと言える状況です。

ボランティア自身から教師陣に対して出席を促すのは、過去の隊員から聞くとあまり効果が挙がらなかったようなので、郡教育事務所あたりにアプローチをして、校長へ指導してもらうようにしたいと考えています。しかしまだ5週間分のデータしか無いので、来タームもこの調査を続け今後の動向を検討する予定です。

ザンビア理科教師隊員(約20名)が配属されている学校状況の話を知ると、やはり校長先生の出来不出来で学校の良し悪しが大幅に決まってしまうのが現状のようです。校長先生が学校に来なくてしっかりした学校運営がされていると言う話は少なくとも私は聞いたことがありません。

「校長が教師の管理をしない⇒教師たちは学校に来なくてもバレない⇒給料は丸ごとゲット⇒副業などに走る」
このような考えが一部の教師の中にあるのだと思います。

右写真は第3タームの終盤に初めて他の隊員が自分の任地を訪れた時に授業の様子を撮ってもらいました。自分一人だとなかなか自分の授業風景を写真に収めることは出来ないのが貴重です。最近の授業は専らこのような感じで全然クラスが生徒で埋まりません。少人数の中で授業を進めるのは心苦しいですが、待った所で生徒が来る保証は無いので気にせずガンガン進めてしまっています。

来年はもっと授業に参加してくれることを期待しています。

